

5年生離島体験学習(一泊二日)

栗国島で農業・同世代交流を体験

北山健児

学校便り
第3号
発行
島袋 剛

■7月3日(水)4日に一泊二日で、5年生が栗国島の離島体験学習に参加しました。当初は一泊三日の計画でしたが、時化むけ、海が荒れることにより数日間船便の欠航が見込まれるため、予定を繰り上げて帰校しました。

■離島体験学習のねらい
①離島の自然や文化を理解する。
②離島の方たちと親睦を深める。
③仲間とより親しく団結力ある集団をつくる。

■体験学習の日程
○初日：野菜の収穫作業
○二日目：①栗国小五六年生児童との交流

■栗国島(村)の紹介
○栗国島は、那覇の北西約60kmにあり、那覇泊港からフェリーで約一時間。フェリーは一日一往復運行。
○人口は約七百人
○面積は約8km²で、今帰仁村の約五分の一
○栗国小中学校は小学生29名、中学生18人が在籍。
○主な産業は肉用牛飼育(繁殖)ととうきび栽培・漁業塩づくり



栗国小5・6年生との交流場面

■児童の感想(一部抜粋)

■新城(寧子)
栗国の土は砂が入っていて、今帰仁の土よりも固いの。野菜がいっぱい収穫できたので不思議に思いました。栗国小五六年生が今帰仁村に行ってみたいと言っていたからとても嬉しかったです。今回の離島体験学習では一泊二日しかできませんが、残念だったけど、それでも離島の自然や栗国の人たちはみんな親切だったことが分かったので良かったです。私もみんなの団結力が前よりも良くなったんじゃないかと思いました。

■山下(雄靖)
略(これから生まれてくる牛(三頭)の名前の付けられると聞いたのでよかったです。略)

■土間(陽向)
野菜収穫体験では、野菜収穫は難しいと思いましたが、力を入らずに掘って野菜を割ってしまったり、力を出さないと掘りにくいし、力加減が必要なんだなと感じました。コツを掴むとできそうな感じだと最初は思いました。宿に泊まって思ったことは、家族以外と宿に行くのは初めてだったので少し緊張しましたが、少しずつ慣れてきてみんなとはしゃいだりしてとても楽しかったです。

■大城(優太)
フェリーの欠航が見込まれるので二日目まで帰ると言われたので残念でした。だけどそれも離島ならではの体験でした。

■土原(仁葉)
略(家でテレビを見ていて気づいたら一時間経ってたりする。宿で時計を見て時間を気にしながら行動する体験をし、これからは家で時間も気にしなから行動しようと思う勉強になった。)

■島袋(夏帆)
交流会で私は、風来荘の発表をしました。栗国小の五六年生は静かに最後まで聞いてくれたので良かったです。栗国小では、給食のお膳が違っていたり、青空給食があったり、バイキングや年に一度好きな給食が決められるの、良いと思います。プールもないので授業も海でやると思います。略)

習字教室A(半紙) 3年生以上	7/30(火)~8/2(金)【4日間】 午後1時30~3時30分	締切 7/12 (金)	夏休み中の「書道教室」・ 「おかしづくり教室」・ 「絵の教室」のお知らせ
習字教室B(長紙) 3年生以上	8/7(水)~9(金)【3日間】 午後1時30~3時30分		
おかしづくり教室 4年生以上	8/19(月) 午前9時~12時	締切 7/18 (木)	
絵の教室A 1~3年生対象	8/5(月) 午後1時30~4時30分		
絵の教室B 4~6年生対象	8/6(火) 午後1時30~4時30分		